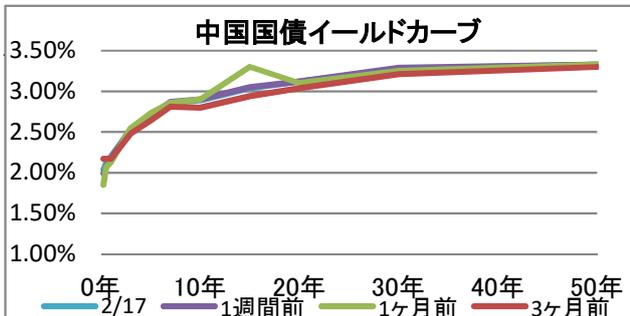
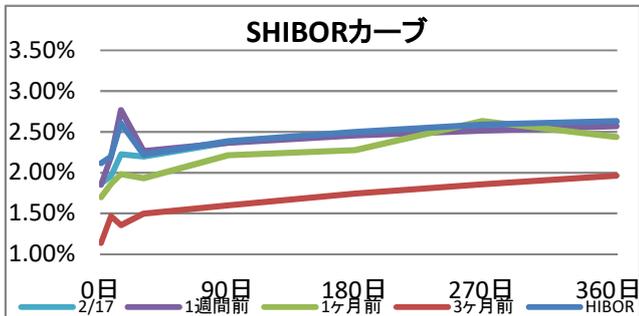


基準レート		2023/2/17	(前週末比)
人民元基準値	USD/CNY	6.8659	+0.0775
	JPY/CNY	5.1189	-0.0447
SHIBOR	3M	2.3850%	+0.0140%
国債利回り	10年	2.89%	-0.01%
上海総合指数		3,224.02	-36.35



(1) 概況

国際金融市場では、米国の堅調な経済指標を受けて金融引締め長期化が懸念される中、FRB高官の利上げ再加速を示唆するタカ派的な発言もあって長期金利が上昇し、ドル高が進行、株価は総じて上値の重い展開が続いた。

中国金融市場では、景気回復や政府の内需拡大策への期待から債券利回りが信用債と中期ゾーンを中心に上昇し、株式市場も米中対立の激化に対する懸念から上値の重い展開が続く、外為市場では米国の金融引き締め長期化懸念からドル高元安が続く展開となった。

中国では、習主席がゼロコロナ政策終了の判断につき、死亡率の世界最低水準維持等を引き合いに正当性を強調し、経済面では「外資導入・利用の強化や外資系企業へのサービスを確り行う必要」を指示した演説内容を公表し、李総理は、国内会議で一連の経済政策パッケージの奏効から経済回復が続くとの考えを示した。中国人民銀行は、債券市場やデリバティブ市場等の対外開放を一層進める方針を示して香港との互換通（金利スワップ取引）に関するパブコメを公表し、銀保監会等は、銀行のリスク管理レベル向上や資本監督管理制度の改善等を図るため「商業銀行の資本管理措置」のパブコメを公表。証監会は、新規株式公開（IPO）の登録制への全面移行を図る新規則や中国企業の海外株式上場への監督管理強化を目的とする新規則、重要なマネーマーケットファンドへの監督に関する規定等を公表し、香港の証券監督当局との間で中国本土企業の香港上場で協力する旨の覚書を締結。この間、本年1月末の海外機関の銀行間市場債券保有高は3.28兆元と前月比減少に転じている。米中関係では、偵察気球問題でバイデン大統領が、関係悪化回避や習主席との話し合いを模索する中、実現した外交トップ会談では相互に非難や警告が発せられるなど、今後の両国関係の展開に注目が集まっている。

(2) 金融市場調節

中国人民銀行は、リバースオペ期日18,400億元、MLF期日3,000億元に対して、リバースオペ16,620億元、MLF4,990億元を実施し、ネットで210億元を供給。

(3) 主な経済指標

特になし。

② 資金市場

(1) 人民元資金市場

	SHIBOR	無担保資金	レポ	NCD AAA
ON	2.1150%	1.9500%	2.6000%	
1W	2.1980%	2.6300%	3.0000%	
2W	2.6040%	2.3500%	2.9000%	2.4000%
1M	2.2220%	2.4000%	2.9000%	2.3500%
3M	2.3850%	2.7000%	2.9500%	2.4400%
6M	2.5000%	3.0000%	2.6000%	2.5300%
9M	2.5890%			2.6000%
12M	2.6350%	3.3000%	2.8500%	2.6700%

中国人民銀行が週前半にオペで多額の資金吸収後にMLFを若干増額したものの、資金需給タイト化により金利が上昇すると週後半には資金供給を増やして中立に戻したが、資金需給改善は限定で、金利水準も高めでの推移が続いた。ターム物の出合いは1ヶ月の2.5%前後での取引を除き限定的。

NCDもタイトな資金需給を映じて金利水準が上昇しており、ターム物の金利水準は、1ヶ月が2.3%前後、3ヶ月が2.4%前後、6ヶ月が2.5%前後、1年が2.65%前後まで上昇している。

(2) 米ドル資金（本土内）

	BID	OFFER
ON	4.58%	4.60%
1W	4.65%	4.67%
1M	4.70%	4.75%
3M	5.00%	5.05%
6M	5.10%	5.20%
12M	5.20%	5.40%

市場予想を上回るインフレ指標等の経済指標に加え、FRB高官のタカ派発言が続いたことから、金融引締めの長期化とターミナルレートの上方修正相場となり、金利水準は上昇。中国本土市場では、資金の出し手が限定的となる中、出合いは短期中心となっている。

③人民元債券市場

	国債	地方債AAA	金融債AAA	社債AAA	社債AA
3M	1.99%		2.41%	2.51%	2.82%
6M	2.07%		2.51%	2.62%	2.93%
1Y	2.17%	2.20%	2.64%	2.72%	3.12%
3Y	2.54%	2.61%	2.84%	3.17%	3.85%
5Y	2.70%	2.79%	3.03%	3.46%	4.22%
10Y	2.90%	3.05%	3.37%	3.66%	4.49%

資金需給のタイト化に加え、欧米での長期金利上昇を受けて信用債と中期ゾーンを中心に軟調（利回り下方硬直的）な展開となったものの、国内景気動向を見極めたいとの様子見姿勢も強く、狭いレンジ内での取引となった。米国では金融引き締め長期化に対する懸念が強まり、10年国債利回りが一時3.9%台まで上昇後に連休を控えて3.81%（前週比+8bp）に低下したものの、10年中国国債（2.89%、同-1bp）に対する利回り上回り幅は+92bp（同+9bp）へと一段と拡大している。

イールドカーブは、中期を中心に総じて上昇する格好でのスティーピングが続いており、クレジットスプレッドも利回り上昇により更に拡大する状況となっている。

④先物為替市場

	USD / CNY
1M	-129.0 / -128.0
3M	-435.0 / -430.0
6M	-910.0 / -900.0
9M	-1360.0 / -1350.0
12M	-1775.0 / -1765.0

対ドル基準レートは6.8659と前週末比+775pipsのドル高元安、対円基準レートは5.1189と同-447pipsの円安元高と、市場での急激なドル高を受けた設定となっている。中国国内市場では、米中関係悪化の懸念が高まる中で米CPI後に米国の金融引き締め長期化懸念も加わりドル高に拍車がかかることとなって6.88台まで上昇している。

先物は、米国金融引き締め政策の長期化懸念が一段と強くなったことからディスカウント幅の拡大が続き、1年物は週初-1600台後半から-1700台後半まで拡大している。

⑤金利スワップ

	Quarterly 7d Repo A/365	Quarterly 3M SHIBOR A/365 A/360	Annually O-N SHIBOR A/365 A/360
3M	2.22%		1.83%
6M	2.22%	2.48%	1.84%
9M	2.26%	2.54%	1.90%
1Y	2.32%	2.63%	1.95%
3Y	2.64%	3.00%	2.05%
5Y	2.86%	3.28%	
7Y	3.00%	3.44%	
10Y	3.13%	3.57%	

スワップ金利は、債券市場での利回り上昇により上昇しているものの、債券利回りとの金利差であるスワップスプレッドはほぼ前週末並み。

◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入